



## Red Hat Insights 2022

# System Comparison を使用した操作関連の問題 のトラブルシューティング

システムの運用上の問題を特定し、レポートを生成する方法



## Red Hat Insights 2022 System Comparison を使用した操作関連の問題の トラブルシューティング

---

システムの運用上の問題を特定し、レポートを生成する方法

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Troubleshooting\_Operational\_Issues\_Using\_System\_Comparison.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

このワークフローの例では、システム間の設定の違いを特定し、統計の CSV レポートを生成する方法を示しています。

---

## 目次

|  |    |
|--|----|
| 多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....                                      | 3  |
| RED HAT ドキュメントへのフィードバック .....                                  | 4  |
| 第1章 概要 .....   | 5  |
| 第2章 SYSTEM COMPARISON および BASELINE COMPARISON サービスへのアクセス ..... | 6  |
| 第3章 システム比較におけるシステムの手動追加 .....                                  | 8  |
| 第4章 システムファクトのフィルタリング .....                                     | 9  |
| 第5章 システム比較出力のエクスポート .....                                      | 10 |



## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[弊社の CTO、Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

## RED HAT ドキュメントへのフィードバック

弊社のドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックを提供するには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加します。

### 前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルでは、このドキュメントは **Multi-page HTML** 表示形式です。

### 手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **フィードバック** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



#### 注記

フィードバック機能は、**マルチページ HTML** 形式でのみ有効です。

2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. ハイライトされたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題リンクをクリックします。



## 第1章 概要

IT 環境では、2つのシステムが同じテンプレートを使用して設定されていても、異なる動作をする可能性があります。Insights for Red Hat Enterprise Linux サービスを使用すると、IT オペレーターは、システム設定を他のシステムと比較できます。

複数のシステム間の設定の違いを特定するには、次のコマンドを実行します。

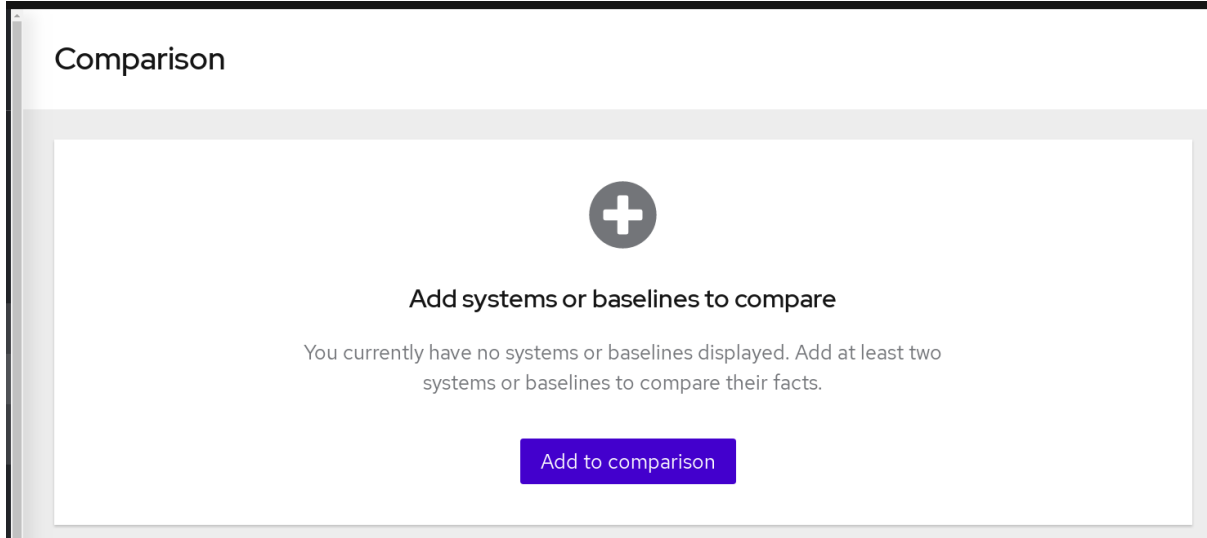
1. Insights for Red Hat Enterprise Linux サービスにアクセスします。
2. Red Hat Enterprise Linux の Insights 内に手動でシステムを追加し、プロファイルを表示します。
3. 状態別にシステムファクトをフィルタリングし、差分と不完全なデータを強調表示します。
4. フィルターされた出力を CSV ファイルにエクスポートして詳細にわたる分析を行います。

## 第2章 SYSTEM COMPARISON および BASELINE COMPARISON サービスへのアクセス

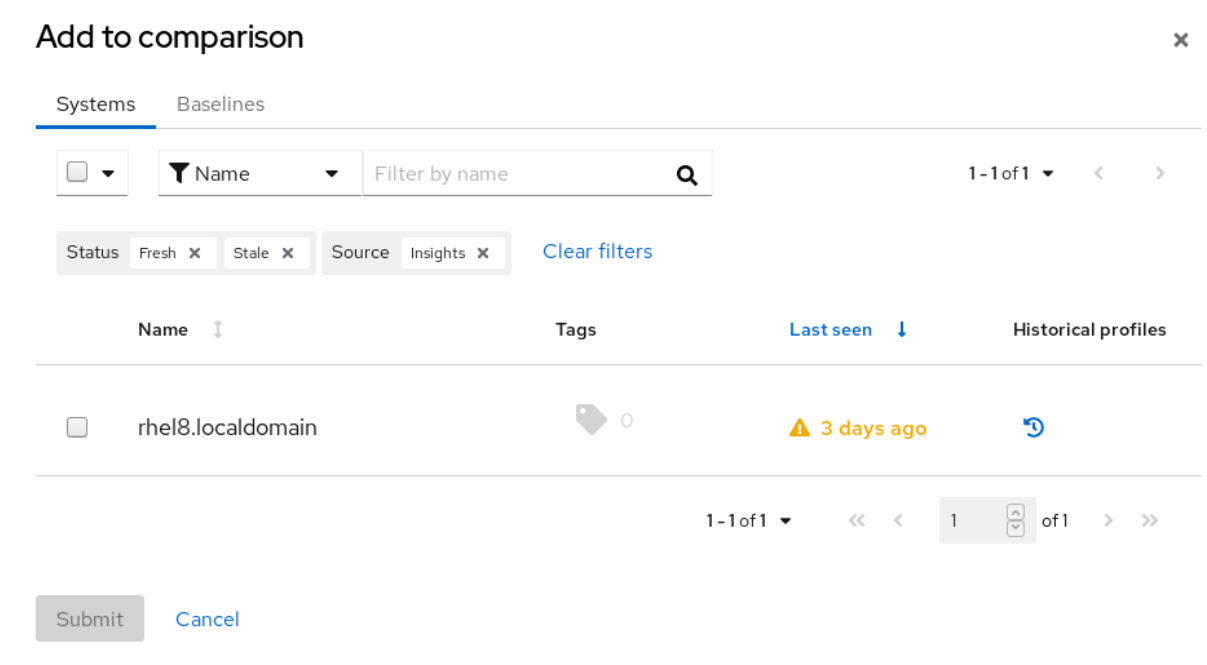
Insights for Red Hat Enterprise Linux サービスは、Insights for Red Hat Enterprise Linux アプリケーションの一部です。Red Hat Hybrid Cloud コンソール でこのサービスにアクセスします。

### 手順

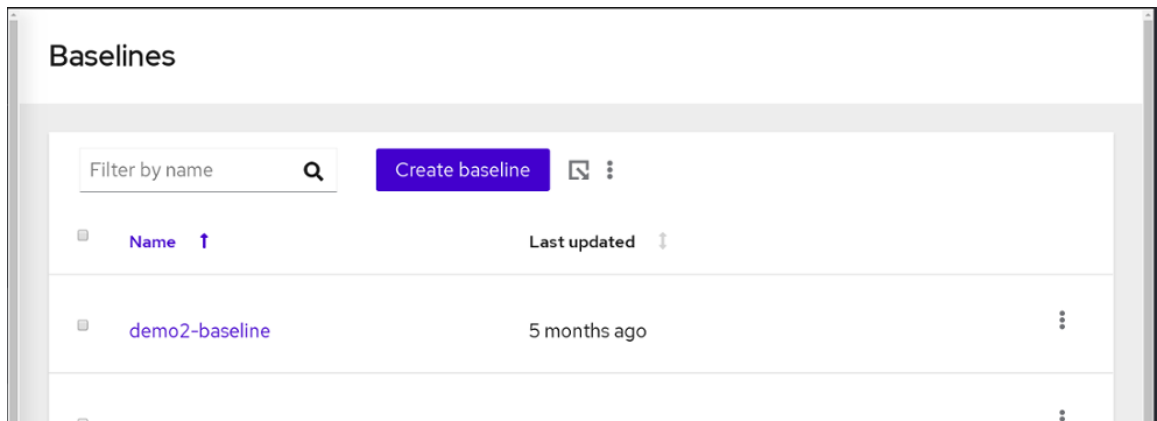
1. Red Hat Enterprise Linux > Drift > Comparison に移動します。Comparison 画面が開きます。



2. Add to comparison をクリックします。Add to compare 画面が開き、比較するシステムやベースラインを追加できます。



- **System** タブで、比較する任意のシステムを追加できます。この画面では、Insights for RHEL アプリケーションインベントリにすでに存在するベースラインも表示されます。
- **Baseline** タブで、ベースラインを作成できます。この画面では、インベントリにすでに存在するベースラインも表示されます。



3. **Submit** をクリックして、システムまたはベースラインを追加して比較を行います。

追加したら、Insights for RHEL アプリケーションインベントリーのシステムとベースラインのファクトを比較できます。

## 第3章 システム比較におけるシステムの手動追加


Insights for Red Hat Enterprise Linux サービスでは、Insights for RHEL アプリケーションインベントリに登録されているシステムを追加できます。

### 手順

1. [Red Hat Enterprise Linux > Drift > Comparison](#) に移動します。Comparison 画面が開きます。
2. **Add to compare** をクリックします。
3. 一覧から比較するシステムを選択します。または、検索ボックスにシステムの名前を入力し、名前で検索してから、システムを選択します。
4. **Submit** をクリックします。



### 注記

- その他のシステムは、Comparison 画面上部付近にある **Add to comparison** ボタンをクリックして、いつでも追加できます。
- 同様に、各システム名の右上隅にある X マークをクリックして比較対象のシステムを削除することや、上部に位置するオプションメニュー(  )をクリックしてからすべてのシステムを削除し、次に **Clear all comparisons** をクリックして再度開始することもできます。

## 第4章 システムファクトのフィルタリング

システムプロファイルを状態別にフィルタリングし、システムと不完全データ間の差異を強調表示します。

1. **View** ドロップダウンリストをクリックして **Same** を選択し、同じファクトを表示します。
2. **View** ドロップダウンリストをクリックして **Different** を選択し、異なるファクトを表示します。
3. **View** ドロップダウンリストをクリックして **Incomplete Data** を選択し、情報が不完全なファクトを表示します。

以下のスクリーンショットの例では、システム全体で違いを示すファクトでフィルタリングされたシステム比較データを確認できます。**fqdn** などの一部のファクトは、システムごとに異なることが予想されます。しかし、インストールされているパッケージは同じです。時間が経つと、一部のパッケージがシステム1でアップグレードされます。しかし、ファクトカテゴリー **installed\_packages** を拡張することで、システム2およびシステム3ではアップグレードされていません。

The screenshot shows a 'Comparison' interface with a table of facts. The table has columns for 'Fact', 'State', and three system profiles. The 'State' column shows red exclamation marks for 'Different' facts. The facts listed are bios\_release\_date, bios\_vendor, and bios\_version, all of which are different across the systems.

| Fact ↑            | State ↓ | rhel6-chicago.example.com<br>☆ 20 Apr 2020, 13:37 UTC | rhel6-tokyo.example.com<br>☆ 20 Apr 2020, 13:19 UTC | soundwave.infra.pnhc<br>☆ 20 Apr 2020, 14:34 UTC |
|-------------------|---------|---|---|--|
| bios_release_date | !       | 04/01/2014  | 01/01/2011  | 12/12/2018                                       |
| bios_vendor       | !       | SeaBIOS   | Seabios   | Phoenix Technologies LT                          |
| bios_version      | !       | 1.11.0-2.el7  | 0.5.1   | 6.00   |

## 第5章 システム比較出力のエクスポート


Comparison サービスでは、フィルターなどの現在の選択肢とともに、システム比較出力を Comma Separated Value (CSV) ファイルにエクスポートできます。



### 注記

エクスポートされた CSV レポートは、適用されるフィルターを含む、システム比較出力上の現在の選択をすべて保持します。つまり、WYSIWYG (What you see Is What you Get) パラダイムに従います。したがって、レポートにエクスポートするネストされたファクトカテゴリー (例: **installed\_packages**) を展開する必要があります。

### 手順

1. 2つ以上のシステムの Comparison 出力画面で、**Export to CSV** アイコン (  ) をクリックし、**Export to CSV** を選択します。
2. 任意の場所に CSV ファイルを保存して、システムのエクスポートしたファクトを簡単に比較し、不一致を分析できるようにします。